



細川美和さん
相馬野馬追で御神旗を獲得

本祭りに出陣する勇姿

国の重要無形民俗文化財「相馬野馬追」で「20歳未満で未婚」という女性の出場条件が撤廃され、細川美和さん(白石出身)が20年ぶりの出場を果たしました。実家の細川牧場で馬に親しみ、小学1年生から19歳まで出場してきた細川さん。5月25日には約200人の騎馬武者が激しく争う神旗争奪戦に出場し、見事に御神旗を獲得。「言葉にできないくらいうれしい。(他界した)母にも見せたかった」と涙しました。

第4回「までいなマルシェ」開催!

5月24日、いいたて村の道の駅までい館生産者の会が主催する「までいなマルシェ」が、道の駅イベント広場で開催されました。今回で4回目となるこのマルシェでは、飯館村産の農産物や加工品に加え、ハンドメイド製品や石彫作品なども販売され、多くの来場者で賑わいました。生産者の会の出店者は、訪れた皆さんに自身の取り組みや飯館村の魅力を伝え、売り手と買い手それぞれが交流を楽しんでいる様子でした。



「はたらくクルマ」が道の駅に大集合!

5月3日、いいたて村の道の駅までい館にて、建設重機やトレーラー、消防車やパトカーなどを展示するイベント「はたらくクルマ大集合!」が開催されました。当日は、株式会社東栄、警察・消防機関の車両が約30台展示され、子どもから大人まで、たくさんの方が会場を訪れました。特に子ども達は、大迫力の重機を目の前に大興奮!展示車と記念撮影をしたり、運転席に乗り込んだりして「はたらくクルマ」を楽しんでいました。



行者ニンニクをおいしく召し上がれ

菅野隆幸さん(関根・松塚)の行者ニンニク畑が、一面緑に輝いていました。

行者ニンニクは山菜の一種で健康効果が高く、菅野さんは北海道から種や苗を取り寄せ、30年程前から栽培に取り組んできました。栽培方法を確立するまで何年もかかったそうですが、「難しいから面白いんだよ」と笑顔を見せました。菅野さんの家ではさまざまな調理法で行者ニンニクを味わっていて、「来年は加工にも着手してみたい」と話していました。



手前から奥まで、見事に育った行者ニンニクの緑が続きます。現在は村内と川俣町、2か所のほ場で栽培しています。



いいたて村の道の駅までい館では、直売所での販売に加えて、レストランメニューに期間限定で「行者ニンニクラーメン」が登場しました。昨年は醤油味のみでしたが、今年は味噌味も新登場。それぞれ効果的に行者ニンニクが使われていて、他にはない大変おいしいラーメンでした。旬が短いので、広報発行時には終了してしまいますが、まだ味わっていない方はぜひ来年をお楽しみに。※写真は味噌味です。

「飯館村食を考える会」が交流会

5月9日、『飯館村食を考える会』が、新たに5人の会員を迎え、令和7年度の総会と交流会を開きました。総会では、菅野一代会長(比曾)があいさつし、「村民の健康のために、バランスのよい食事と減塩を普及させていきましょう」と会員に呼びかけました。また、交流会では、会員の高倉君枝さん(前田)の郷土料理を味わい、和気あいあいと会食しました。会では一緒に活動する会員を随時募集しています。



いいたてロックフェスティバル

5月4日、交流センター「ふれ愛館」のホールで、「いいたてロックフェスティバル」が開催されました。

このイベントは、村内で音楽スタジオとミュージックカフェを営む佐藤祐喜さん(上飯樋)が中心となり、実行委員会の主催で実施されている音楽イベントで、今回で3回目の開催です。当日は村内外で活躍する多くのミュージシャンが集まり、それぞれ特色のある音楽を演奏し、会場を盛り上げました。

